

駅伝監督 MESSAGE



両角 速 (モロズミ ハヤシ)

体育学部競技スポーツ学科 准教授
陸上競技部 中長距離駅伝監督

1966年7月5日生まれ

1985年3月 東海大学第三高等学校^(※) 卒

1989年3月 東海大学体育学部卒

※現在の校名は「東海大学付属諏訪高等学校」

第94回箱根駅伝を迎えるにあたりまして、東海大学を応援いただいている皆様方に心より感謝申し上げます。

さて、近年の陸上長距離界は急速にスピード化が進んでおり、その流れは箱根駅伝におきましても例外ではありません。強化方法につきましても、従来は長い距離を踏むことでスタミナをつけ、20kmの距離に対応していくことが主流でしたが、現在の箱根駅伝で優勝争いに絡むためには、スタミナ練習とともにスピード強化を図ることが不可欠な状況となりました。

このスピード化の流れに対応すべく、本学チームは春先から1,500m・5,000mを中心に積極的に競技会に参加し、併せてトラック練習で個々のスピード強化を図ってまいりました。その成果は、日本選手権や関東インカレ、全日本インカレをはじめとする各種競技会、そして学生三大駅伝の初戦である出雲駅伝での優勝と、着実に形となって表れております。その後の全日本大学駅伝におきましては、神奈川大学の後塵を拝して準優勝という結果となりましたが、一昔前はシード権獲得で喜んでいたチームが、準優勝という結果に満足しない、戦う集団に変わってきたという手ごたえを感じております。

今回のエントリー選手の16名は、スピードが武器の下級生と安定感のある上級生とのバランスがとれた構成となりました。16名一人ひとりの走力は他大学に引けを取らないレベルとなり、さらに部員全体の底上げが進んだことで選手層が厚くなり、箱根駅伝3連覇中の青山学院大学の背中も大きく見え始めてまいりました。

学園創立75周年の節目である今年度の箱根駅伝を、多くの皆様と喜びを分かち合えるように全力を尽くしてまいりますので、温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。



第29回出雲駅伝優勝
(10年ぶり4回目)

応援場所と時間のご案内

校友会（東京・神奈川）と教職員・学生が一体となって下記地点のコース沿いに応援地点を設置いたします。東海大学の応援のノボリや小旗を目印にお集まりください。

■往路（1月2日）

- 7:30 頃【東京地区】 大手町日比谷セントラルビル前
- 8:00 頃【大森地区】 大森橋交差点付近 第一京浜沿道
- 8:30 頃【川崎地区】 旧川崎警察署前
- 9:25 頃【戸塚地区】 横浜新道・戸塚出口付近
- 10:00 頃【藤沢地区】 藤沢警察署前
- 10:30 頃【平塚地区】 湘南大橋西岸付近
- 10:45 頃【大磯地区】 大磯町役場駐車場
- 11:00 頃【大磯地区】 国府新宿交差点付近
- 11:00 頃【国府津地区】 (株)井上前 (親木橋交差点より西へ200m)
- 11:30 頃【小田原地区】 ローソン小田原浜町店前
- 12:30 頃【箱根地区】 元箱根交差点付近 (お土産みやま横)

■復路（1月3日）

- 7:00 頃【箱根地区】 元箱根交差点付近 (お土産みやま横)
- 9:00 頃【国府津地区】 (株)井上前 (親木橋交差点より西へ200m)
- 9:15 頃【大磯地区】 国府新宿交差点付近
- 9:20 頃【大磯地区】 大磯町役場駐車場
- 9:30 頃【大磯地区】 下花水橋西付近スーパーたまや前
- 9:30 頃【平塚地区】 湘南大橋西岸付近
- 10:00 頃【藤沢地区】 藤沢警察署前
- 12:00 頃【川崎地区】 旧川崎警察署前
- 12:00 頃【高輪地区】 泉岳寺駅付近 第一京浜沿道
- 12:00 頃【日比谷地区】 日比谷交番付近
- 12:00 頃【東京地区】 日比谷 DN タワー 21 前

※集合日時は例年を目安にしております。天候やレース展開によっては通過時間が前後する場合があります。

応援場所の詳細は web サイトをご参照ください

東海大学では「箱根駅伝応援サイト」を開設しています。応援場所の詳細につきましては、下記 URL をご参照ください。

※スマートフォンをお持ちの方は、右のQRコードから簡単にアクセスできます。

<https://www.75th.tokai.ac.jp/hakone>



学校法人東海大学
2017年 建学75周年

第94回 東京箱根間往復大学駅伝競走

箱根駅伝

【東海大学応援ガイドブック】

先 駆 け で あ る こ と
~Think Ahead, Act for Humanity~



東海大学

5年連続 45 回目の 箱根路への挑戦!!

陸上競技部 STAFF

- 陸上部部長：植田 恭史
- 陸上部監督：高野 進
- 駅 伝 監 督：両角 速
- ヘッドコーチ：西出 仁明
- 駅伝コーチ：小池 翔太
- 駅伝コーチ：両角 駿
- 駅 伝 主 将：春日 千速
- 駅 伝 主 務：西川雄一郎



■本学の箱根駅伝の記録

大会回数	年	総合順位	大会回数	年	総合順位
第49回	1973	14位	第71回	1995	8位
第50回	1974	9位	第72回	1996	4位
第51回	1975	10位	第73回	1997	8位
第52回	1976	13位	第74回	1998	14位
第53回	1977	6位	第75回	1999	5位
第54回	1978	10位	第76回	2000	7位
第55回	1979	11位	第77回	2001	途中棄権
第56回	1980	10位	第78回	2002	14位
第57回	1981	12位	第79回	2003	7位
第58回	1982	11位	第80回	2004	2位
第59回	1983	5位	第81回	2005	6位 (往路優勝)
第60回	1984	6位	第82回	2006	6位
第61回	1985	13位	第83回	2007	3位
第62回	1986	7位	第84回	2008	途中棄権
第63回	1987	6位	第85回	2009	18位
第64回	1988	8位	第86回	2010	12位
第65回	1989	8位	第87回	2011	4位
第66回	1990	8位	第88回	2012	12位
第67回	1991	8位	第90回	2014	13位
第68回	1992	10位	第91回	2015	6位
第69回	1993	14位	第92回	2016	5位
第70回	1994	5位	第93回	2017	10位

【過去最高順位】総合：2位、往路：優勝、復路：4位

東海大学エントリー選手

①所属学部

②出身高校

③5,000_{メートル}自己ベスト

④10,000_{メートル}自己ベスト

⑤ハーフマラソン自己ベスト



かすが ちはや

春日 千速

①理学部
②長野・佐久長聖
③13.52.92
④29.05.39
⑤1:02.41

今回で最後の箱根駅伝となります。主将として、また4年生としてチームを牽引できるように全力を尽くします。応援よろしくお祈いします。



かわばた かずと

川端 千都

①体育学部
②京都・綾部
③13.49.33
④28.32.94
⑤1:02.23

“走姿頭心”これまでの努力や感謝の意を表し、その姿を届けます。最後まで東海大学と共に全力で駆け抜けます。応援よろしくお祈いします。



くにゆき れお

國行 麗生

①体育学部
②徳島・美馬商業
③13.51.42
④28.43.71
⑤1:02.39

全日本大学駅伝で勝ちきれなかった悔しさを晴らす結果を目指します。個人としても、最上級生としてチームを引っ張る走りをします。



みかみ しゅうと

三上 嵩斗

①理学部
②愛知・岡崎城西
③13.47.26
④28.32.24
⑤1:04.51

出雲・全日本、またその他の競技会で自信をつけることが出来たので、箱根でもしっかりと自分の走りをし、チームに貢献したいです。



みなとや はるき

湊谷 春紀

①体育学部
②秋田・秋田工業
③13.53.18
④28.41.77
⑤1:02.54

任された区間で自分の持ち味を出して、勝ちにこだわった走りをしたいと思います。応援よろしくお祈いします。



ゆざわ しゅん

湯澤 舜

①体育学部
②長野・東海大三
③14.19.32
④29.13.44
⑤1:03.12

ここまで長い距離を中心にトレーニングを行い、勝負の中で自信をつけることができたので、攻めの走りでチームに貢献します。



おにづか しょうた

鬼塚 翔太

①体育学部
②福岡・大牟田
③13.38.58
④28.17.52
⑤1:02.03

箱根駅伝ではどの区間を走っても区間賞を獲得し、チームに勢いを与える攻めの走りをします。ご声援よろしくお祈いします。



くんじ あきひろ

郡司 陽大

①体育学部
②栃木・那須拓陽
③13.57.89
④29.05.28
⑤1:03.23

去年は補欠で見るだけの悔しい思いをしました。今年は走ってチームの目標である優勝に貢献したいと思います。



さかくち りょうへい

阪口 竜平

①体育学部
②京都・洛南
③13.41.09
④30.12.64
⑤ー

周りを圧倒出来るような走りをし、区間賞を獲得し、チームの優勝に貢献したいと思います。応援よろしくお祈いします。



せき はやと

関 颯人

①体育学部
②長野・佐久長聖
③13.35.81
④28.23.37
⑤1:03.12

積極的な走りで区間賞を獲ってチームの目標である優勝に貢献できるように頑張りたいと思います。応援よろしくお祈いします。



たかた りんたろう

高田 凜太郎

①文学部
②熊本・九州学院
③14.11.25
④28.57.91
⑤1:03.03

今年は1年を通して結果を残す事ができず、ギリギリメンバーに入ることが出来ました。いつも通り走れる事に感謝して箱根を迎えたいです。



たてざわ りょうじ

館澤 亨次

①体育学部
②埼玉・埼玉栄
③13.48.89
④29.50.67
⑤1:03.14

昨年は区間13位と悔しい思いをしたので今回はリベンジで区間3位以内の走りを目指します。持ち味の攻めと粘りの走りでチームに貢献します。



なかしま れいり

中島 伶利

①体育学部
②岡山・倉敷
③13.57.89
④29.15.38
⑤1:03.34

必ず区間賞を獲って、チームに勢いをつけよう走ります。2度目の箱根路も楽しく走り、今年は笑顔で終われるようにしたいです。



にしかわ ゆういちろう

西川 雄一朗

①体育学部
②兵庫・須磨学園
③13.56.01
④29.18.91
⑤1:03.16

大舞台での緊張感を力に変え、持ち味である攻めの走りでチーム目標である優勝に貢献します。応援よろしくお祈いします。



まつお じゅんのすけ

松尾 淳之介

①体育学部
②秋田・秋田工業
③13.56.07
④28.50.94
⑤1:02.17

積極的に攻めること、粘ることを心掛けて頑張ります。前回の箱根の失敗を活かし、今回はしっかりと結果を残してチームに貢献します。



にしだ たくし

西田 壮志

①体育学部
②熊本・九州学院
③14.15.28
④29.36.35
⑤1:04.01

今回初めての箱根駅伝に挑戦します。1年生らしく元気のある走りでチームの優勝に貢献したいです。ご声援よろしくお祈いします。



にしかわ ゆういちろう

西川 雄一朗

【駅伝主務】
①文学部
②熊本・九州学院

東海大学での集大成として、4年間成長させてもらったチームのために“0区”としての役割をしっかりと果たしたいと思います。

■エントリー選手 PB 上位 10 人

1,500 _{メートル}	5,000 _{メートル}
3.42.08 関 颯人	13.35.81 関 颯人
3.42.51 館澤 亨次	13.38.58 鬼塚 翔太
3.43.63 阪口 竜平	13.41.09 阪口 竜平
3.44.38 國行 麗生	13.47.26 三上 嵩斗
3.44.92 鬼塚 翔太	13.48.89 館澤 亨次
3.44.94 川端 千都	13.49.33 川端 千都
3.48.79 高田凜太郎	13.51.42 國行 麗生
3.49.88 松尾淳之介	13.52.92 春日 千速
3.50.12 三上 嵩斗	13.53.48 湊谷 春紀
3.50.57 湯澤 舜	13.56.01 西川雄一朗
【平均】 3.46.18	【平均】 13.47.45

10,000 _{メートル}	ハーフマラソン
28.17.52 鬼塚 翔太	1:02.03 鬼塚 翔太
28.23.37 関 颯人	1:02.17 松尾淳之介
28.32.24 三上 嵩斗	1:02.23 川端 千都
28.32.94 川端 千都	1:02.39 國行 麗生
28.41.77 湊谷 春紀	1:02.41 春日 千速
28.43.71 國行 麗生	1:02.54 湊谷 春紀
28.50.94 松尾淳之介	1:03.03 高田凜太郎
28.57.91 高田凜太郎	1:03.12 湯澤 舜
29.05.28 郡司 陽大	1:03.12 関 颯人
29.05.39 春日 千速	1:03.14 館澤 亨次
【平均】 28.43.11	【平均】 1:02.46

※タイムは2017年12月3日現在
※赤文字は東海大学歴代最高記録

箱根駅伝コース紹介

※写真は前回大会の走者

■1 区【大手町→鶴見（21.3km）】

コースは全体的にフラットで走りやすく、スピードランナーを起用するチームが多い。83 回大会の佐藤悠基選手による 1 時間 1 分 6 秒が現在も区間記録。50 回大会の宮田将美選手、81 回大会の丸山敬三選手も区間賞を獲得している。



■2 区【鶴見→戸塚（23.1km）】

23.1 km の 2 区は箱根駅伝の最長距離区間で、各大学のエースが集まることから「花の 2 区」と呼ばれる。過去に 1 時間 7 分を切った日本人選手は 3 人だけで、87 回大会で村澤明伸選手が 1 時間 6 分 52 秒で区間賞を獲得。



■3 区【戸塚→平塚（21.4km）】

往路の中盤である 3 区は、はじめの 1 km まではわずかな上り坂、以降は長い下りが続くスピードコースで、近年は 2 区とセットでエース区間として往路の重要区間と考える大学が増えている。82 回大会で佐藤悠基選手が区間賞を獲得している。



■4 区【平塚→小田原（20.9km）】

93 回大会から距離が延長され、5 区の山乗りにつなげる重要区間となったことから、往路の順位を左右する区間として、主力選手を投入する戦略を取る大学が増えている。平地区間では一番距離が短い、細かなアップダウンが続く難コース。



■5 区【小田原→箱根（20.8km）】

山乗りと形容され、標高 874m を一気に駆け上る箱根駅伝の代名詞ともいえる区間。箱根湯本駅を過ぎた辺りから本格的な上りが始まり、後半 4 km は一転して下りとなる。75・76 回大会の柴田真一選手、79 回大会の中井祥太選手が区間賞を獲得している。



区間	コース・距離	区間記録	東海大学記録
1区	大手町→鶴 見（ 21.3km）	1.01.06 佐藤 悠基（東海/07年/83回）	1.01.06 佐 藤 悠 基（07年/83回）
2区	鶴 見→戸 塚（ 23.1km）	1.06.04 M.J.モグス（山学/09年/85回）	1.06.52 村 澤 明 伸（11年/87回）
3区	戸 塚→平 塚（ 21.4km）	1.01.38 O.コスマス（山学/12年/88回）	1.02.12 佐 藤 悠 基（06年/82回）
4区	平 塚→小田原（ 20.9km）	1.03.36 栃木 渡（順大/17年/93回）	1.06.47 松尾淳之介（17年/93回）
5区	小田原→箱 根（ 20.8km）	1.12.46 大塚 祥平（駒大/17年/93回）	1.15.54 館 澤 亨 次（17年/93回）
往路	大手町→箱 根（107.5km）	5.33.45 青山学院（17年/93回大会）	5.41.44 （17年/93回大会）
6区	箱 根→小田原（ 20.8km）	0.58.01 秋山 清仁（日体/17年/93回）	0.59.56 中 島 伶 利（17年/93回）
7区	小田原→平 塚（ 21.3km）	1.02.32 設楽 悠太（東洋/12年/88回）	1.02.35 佐 藤 悠 基（08年/84回）
8区	平 塚→戸 塚（ 21.4km）	1.04.05 古田 哲弘（山学/97年/73回）	1.05.27 影 山 淳 一（04年/80回）
9区	戸 塚→鶴 見（ 23.1km）	1.08.01 篠藤 淳（中学/08年/84回）	1.10.01 高木登志夫（16年/92回）
10区	鶴 見→大手町（ 23.0km）	1.08.59 松瀬元太（順大/07年/83回）	1.10.31 藤 井 勘 太（11年/87回）
復路	箱 根→大手町（109.6km）	5.25.29 青山学院（15年/91回大会）	5.33.13 （15年/91回大会）
総合	東京箱根間往復（217.1km）	11.04.10 青山学院（17年/93回大会）	11.17.00 （17年/93回大会）

■6 区【箱根→小田原（20.8km）】

5 区の山乗りに対して山下りと呼ばれ、スタートから約 4 km 上った後、箱根湯本駅まで一気に下っていく。スピードが速くカーブが急なので上り以上にコース取りが重要。駅から中継所までの約 3 km は平地であるが、上りに感じるほど脚の負担が大きい。



■7 区【小田原→平塚（21.3km）】

スタート後、国府津駅前までの前半はほぼ平坦で、9 km 過ぎから細かなアップダウンが中継所まで続く。全 10 区間の中で一番気温差が激しいのも特徴。80 回大会の小出徹選手、84 回大会の佐藤悠基選手、93 回大会の石橋安孝選手が区間賞を獲得している。



■8 区【平塚→戸塚（21.4km）】

太陽の強い日差しと追い風が選手を苦しめる 8 区。15.9 km 付近から約 500m 続く遊行寺の坂は、コース全体でも有数の急な上り坂であり、脱水症状などのアクシデントへの注意も必要な区間。80 回大会で影山淳一選手が区間賞を獲得している。



■9 区【戸塚→鶴見（23.1km）】

2 区を逆走する 9 区は、2 区同様に最長距離区間。レース終盤に差し掛かるため、各大学ともに復路のエースを投入し、優勝やシード権の主導権争いが繰り広げられる。コースは序盤に急な下り坂から始まり、緩やかなアップダウンを繰り返す。



■10 区【鶴見→大手町（23.0km）】

最終 10 区はコース自体はフラットで走りやすい。75 回大会以降に距離が延びてから準エース級の選手が集まる区間となった。気温上昇やプレッシャーから大逆転劇やアクシデントが起こることが多く、ラストの切れが求められる区間でもある。



スピード強化のための東海メソッド

■低圧室（高地トレーニング室）

湘南キャンパスに設置された低圧室は、標高 0 ～ 4 千_{メートル}までの環境を再現できる私大で唯一の施設。高地環境で負荷をかけることによって酸素運搬能力が向上し、持久力が高まります。

■陸上競技場のトラックがリニューアル！

学園創立 75 周年記念事業の一環として、湘南キャンパス陸上競技場のトラックをリニューアル。色鮮やかなブルートラックは鎮静効果があるとされ、選手は集中して競技に臨めます。

